

会 議 録

会議の名称		令和８年度第１回大穂学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和８年(2026年)６月２２日（月）開会 15:00 閉会 17:00		
開催場所		つくば市大穂交流センター		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	染谷 強・岡野 浩則・古谷野 好栄 諏訪 優子・飯塚 栄 ・大塚 一浩・中島 賢一 森田 寛之・小林 正信・横島 英明・菊田 康人 渡邊 伸一・村上 義孝・中山 由佳・塚本 正人 柴原 徹・川村 葉月・中島 武夫 大穂中学校：校長 松房 道之 大曾根小学校：校長 大西 秀重 前野小学校：校長 国府田 誠一 要小学校：校長 加藤 光枝 吉沼小学校：校長 石塚 まゆみ		
	その他	大穂中学校：教頭 井上 宏実 大曾根小学校：教頭 古川 裕樹 前野小学校：教頭 瀬尾 正広 要小学校：教頭 河村 亘 吉沼小学校：教頭 細田 和寿		
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				

議題		熟議「令和８年度コミュニティ・スクールの活動計画の作成」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	任命書交付		
	3	挨拶		
	4	説明・報告事項		
		・令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について		
		・令和７年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和８年度地域と学校の連携事業予算計画について		
	5	会長・副会長の選出		
	6	協議		
		(1) 学校運営の基本方針について		
		(2) 熟議 テーマ「令和８年度コミュニティ・スクールの活動計画の作成」		
		(3) その他		
		・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について		
		・諸連絡等		
	7	閉会		

<協議内容>	
1	開会
	司会：令和８年度第１回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議を開会する。会議を進行するにあたり書記を大穂中学校の井上委員にお願いする。 → 承認
2	任命書交付
3	挨拶（自己紹介）
4	説明・報告事項
	(1) 「令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について」
	・つくば市が目指すコミュニティ・スクール
	・写真撮影可となること
	・教職員の働き方改革
	・今年度の予算 375,000 円
	・大穂学園には 10 名の CS コーディネーターが在籍していること
	(2) 令和７年度事業決算及び令和８年度事業予算について説明
5	会長・副会長の選出
	委員の互選により決定 会長に村上委員・副会長に塚本委員を選出 → 承認
	・会長の認めた者の参加承認（各校教頭の参加）

6 協議

(1) 学園・学校運営の基本方針

- ・学園グランドデザインの説明（学園長：松房委員）
- ・各学校グランドデザイン及び教育活動についての説明
→ 承認

(2) 【熟議】「令和8年度コミュニティ・スクールの活動計画の作成」 (大曽根小)

- ・予算があってもなかなか使うことができなかったので、今年度はガイドラインに沿って執行したい。
- ・掃除や休み時間の見守りボランティア活動を広げていく。

(要小)

- ・昨年度は協力者をなかなか集められなかったので、今年度はあらかじめ予定を発信し、参加者を募るようにする。
- ・休み時間の見守りを実施したいが、具体的な方法はこれから決めていく。
- ・廃品回収を1回から2回へ増やす。

(前野小)

- ・縦割り班で芋ほりを実施することができた。今後は児童の意見を取り入れた活動を計画していく。
- ・授業見守りボランティアを年に2、3回実施する。

(吉沼小)

- ・予算の割り振りを行っていく。
- ・学校行事や授業、登下校の見守りなどの支援を実施する。
- ・学校の環境整備（芝生や農園）を地域と連携して行う。

(大穂中)

- ・交通安全見守りや挨拶運動、花壇整備を継続的に行っていく。
- ・保護者や地域の方への周知不足が反省としてあがったので、広報活動しながら更に広げていく。
- ・挨拶運動や花壇作業に生徒の参加を促していく。

(3) その他

- ・CSコーディネーターは随時、学校と打合せを実施できることについて全体に伝える。
- ・つくば市より
 - ・アンケート結果について
 - ・動画について
 - ・Teamsにて情報共有できるようにしていくことについて
- ・次回開催予定
 - 2回目：令和8年10月21日(水)15時 会場：大穂交流センター
 - 3回目：令和9年2月17日(水)15時 会場：大穂交流センター
- ・次回からは会議の準備もお願いしたいことを伝える。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和 8 年度第 1 回大穂学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 6 月 22 日（月） 15：00～

場所：大穂交流センター 研修室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明・報告事項

- ・ 令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・ 令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 熟議 テーマ「令和 8 年度コミュニティ・スクールの活動計画の作成」

(3) その他

- ・ コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・ 諸連絡等

7 閉 会

小中一貫型小学校・中学校

大穂学園

つくば市立

大曽根小学校



〒300-3235
つくば市大曽根2917
TEL 029-864-0166
FAX 029-864-8474
E-mail : ozo01@tkb.ed.jp
URL : <https://www.tsukuba-school.jp/ozo/>

前野小学校



〒300-3267
つくば市前野1367
TEL 029-864-0168
FAX 029-864-8478
E-mail : mae01@tkb.ed.jp
URL : <https://www.tsukuba-school.jp/mae/>

大穂中学校



〒300-3264
つくば市篠崎475
TEL 029-864-0167
FAX 029-864-8479
E-mail : oho01@tkb.ed.jp
URL : <https://www.tsukuba-school.jp/oho/>

要小学校



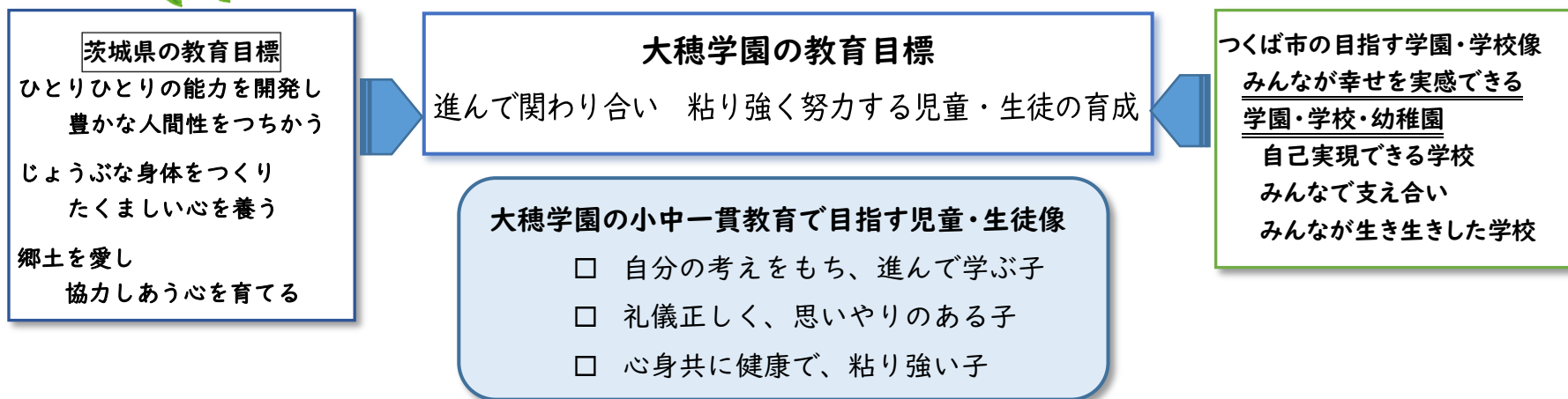
〒300-2622
つくば市要449番地1
TEL 029-864-0449
FAX 029-864-8476
E-mail : kana01@tkb.ed.jp
URL : <https://www.tsukuba-school.jp/kana/>

吉沼小学校

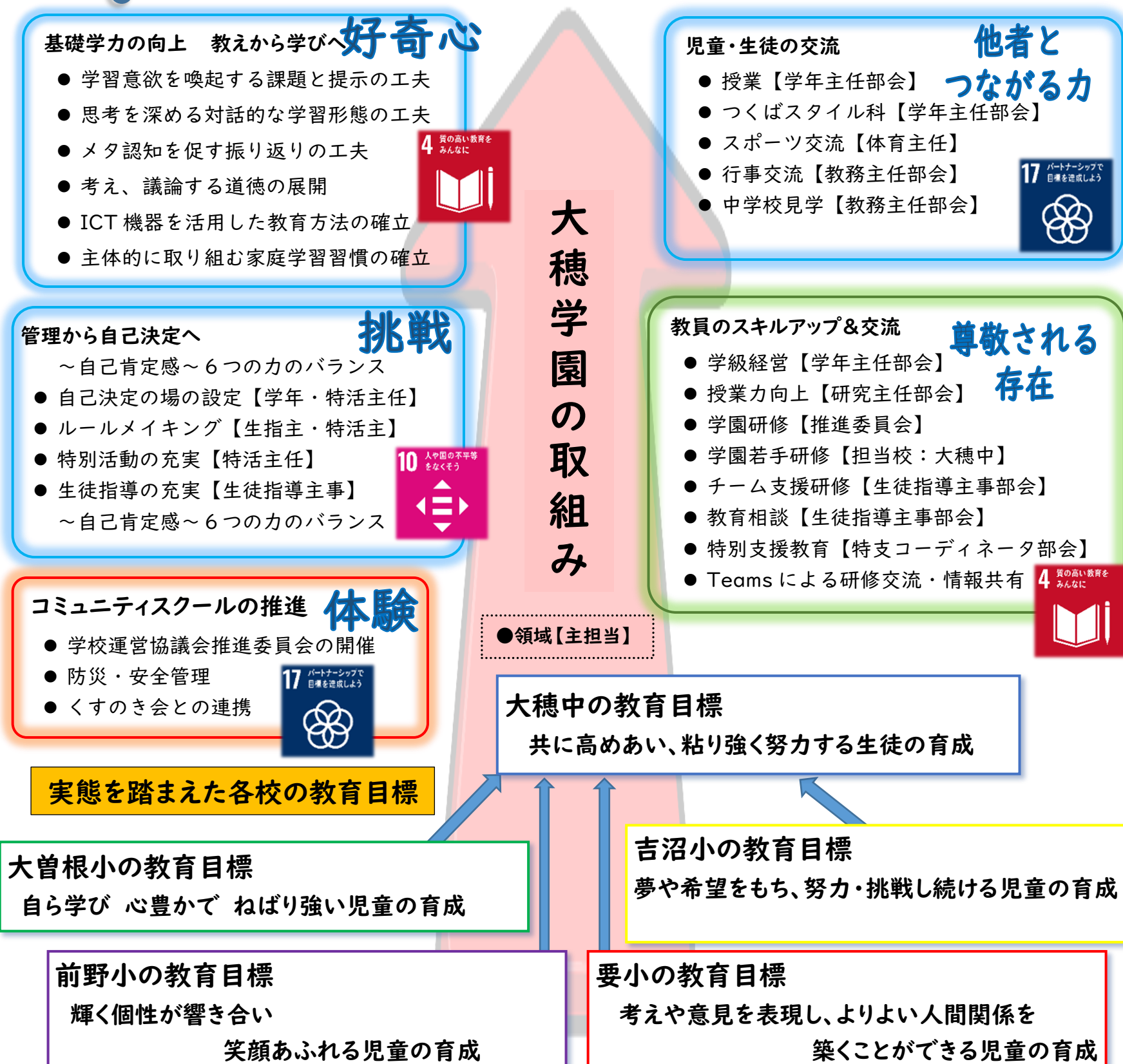


〒300-2617
つくば市吉沼1010
TEL 029-865-0506
FAX 029-865-0783
E-mail : yoshi01@tkb.ed.jp
URL : <https://www.tsukuba-school.jp/yoshi/>

大穂学園 グランドデザイン 2026



教えから学びへ & 管理から自己決定へ



2026年度大穂学園つくば市立大穂中学校グランドデザイン Standard Version

つくば市の教育目標

みんなが幸せを実感できる学園・学校
「自己実現ができる学校」
「みんなで支え合い」
「みんなが生き生きとした学校」
＜今年度の重点目標＞
教えから学びへ
管理から自己決定へ
非認知能力の再認識へ
自己選択・自己調整・自己決定

大穂学園の教育目標

進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成

- 自分の考えをもち、進んで学ぶ子
- 礼儀正しく、思いやりのある子
- 心身共に健康で、粘り強い子

大穂中の教育目標
共に高め合い、粘り強く努力する生徒の育成
～ 夢への挑戦「大穂プライド」～

茨城県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる
**すべての子どもの可能性を
引き出す活力ある学校づくり**

生徒自ら問いを見出し、解決していく探究的な学びの展開 対話と協働、自己決定を通じた学校生活改善の推進

＜未来をひらく力を育む教育＞

目指す生徒：自らの問いをもとに
自分で考え、探究する生徒

◇主体的な学び実現の視点◇

- ・ 問いを引き出す活動の充実
- ・ 課題解決型の探究的な学習の展開
- ・ 協働や試行錯誤、アウトプットの重視
- ・ 各教科の特質に応じた見方・考え方
- ・ まとめと振り返りの重視

※授業ノートの活用

●教科横断的な学びの確立

- ・ 単元全体を見通した
学習活動の展開

- ICTを活用した協働的な学びの展開
個別最適な学びの充実



＜互いを認め合いたれどもが輝く教育＞

目指す生徒：相手意識をもって考察し
自己決定できる生徒

◇自己肯定感を高める視点◇

- ・ 生指4視点をふまえた授業・集団づくり
- ・ 学級経営の充実
- 特別活動の充実
- ・ 係活動、委員会活動の活性化
- ・ 生徒会活動の充実
- ・ ルールメイキングの実践
- コミュニケーション能力の育成
- ・ グループワークの効果的活用
- ・ アサーティブトレーニングの充実
- 自己管理能力の育成
- 校内フリースクールの効果的活用



＜豊かな心身を育む教育＞

目指す生徒：困難を克服して
積極的に挑戦する生徒

◇豊かな人間性を育む視点◇

- ・ 非認知能力を伸ばす環境づくり
- ・ 道徳的実践意欲
- ・ 社会性を育む交流活動充実
- 健やかな体を育む教育の推進
- ・ 学校体育の充実（運動量の確保等）
- ・ 部活動改革の推進
- ・ 昼休みの外遊びの推奨
- 特別支援教育の充実
- ・ インクルーシブ教育の推進
- ・ 生命（いのち）の安全教育の推進
- 感動する体験活動の充実
- ・ 芸術文化活動・自然体験活動の充実



【教員のスキルアップと生徒に向き合う時間を中心とした学校方改革の推進】

目指す教師像：学びのイノベーションを推進し、質の高い教育の展開を目指す教師

- ・ 授業力・生徒理解・生徒指導力を高める研修の実施（含 OJT、自主研修）
- ・ ICTの効果的な活用
- ・ 学校業務の効率化の推進と生徒への成長支援を中心にすえた学校改革（働き方の推進）（定時退校日の設定、厳格なサービス残業の抑制）
- ・ 服務規律を遵守（コンプライアンス研修の計画的実施、適宜追加実施）



コミュニティ・スクールの推進

目指す地域像：地域・保護者と一体となって子供を育む学校

- ・ 地域の人的・物的資源の活用（学習支援ボランティア・出前授業等の積極的活用）
- ・ 社会教育との連携・CS 学校運営協議会との連携・青少年を育てる会との連携
- ・ つくばスタイル科におけるプロジェクト学習（生徒による地域貢献活動）
- ・ 部活動の地域展開の促進
- ・ 地域防犯、防災体制の構築



学校教育

家庭教育

社会教育

地域学校協働活動



大穂学園つくば市立大曽根小学校 令和8年度 グランドデザイン

学園目標 ～進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成～

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

茨城県学校教育指導方針

- すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
- ◇ カリキュラムマネジメントの確立
- ◇ 豊かな学びの展開
- ◇ 安心して学べる環境の保障

学校教育目標

自ら学び 心豊かで ねばり強い児童の育成

目指す児童像

- 自ら学ぶ子
 - ・自律的に学習に取り組む子
 - ・自分の考えを伝えられる子
 - ・様々な人々と学び合える子
- 心豊かな子
 - ・だれにでもやさしくできる子
 - ・多様性を認められる子
 - ・元気にあいさつする子
- 健康でたくましい子
 - ・規則正しく生活できる子
 - ・進んで運動できる子
 - ・最後まであきらめずがんばれる子

教員の資質能力の向上

目指す教師像

- 人間性豊かで、高い使命感をもつ教師
- 一人一人と寄り添った関係を築く教師
- 効果的な学びをデザインし、学びを引き出す教師
- 実践的専門性を高めるために学び続ける教師
- チームとして協働し、学校教育目標の具現化に努める教師



つくば市の目指す学園・学校像

- みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
- ・ 自己実現できる学校
- ・ みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校

目指す子供の姿 ～自分事として捉えている～

- 教えから学びへ
 - ホンモノの問い・自分事の問い
 - 単元を意識した探究的な学び・委ねる学び
 - 体験型・発信型の学び ● 個別最適で協働的な学び
 - 柔軟なカリキュラム・マネジメント
- 管理から自己決定へ
 - 子供主体の学校づくり ● 自ら考え判断する機会の充実
 - 特別活動、学年・学級経営、生徒指導の充実
- 認知能力偏重から非認知能力の再認識へ
 - 非認知能力を育む環境づくり
 - ・ すべての教育活動
 - 教師の働きかけ
 - ・ 変化の見取りと意識付け
 - 豊かな感性を育む体験活動・芸術文化活動・読書等
- 保幼小中連携 ● 小中一貫教育
- 特別支援教育の充実 ● GIGA スクール構想
- 不登校児童生徒支援の充実

目指す学校像

- 一人ひとりが幸せな人生を送れる学校
- 児童も教職員も安心して楽しい学校
- 児童も教職員も学び続ける学校
- 家庭・地域と対話・連携・協働する学校
- 児童に向き合うための働き方改革が進む学校

たのしい大曽根小学校

お おもいきり学ぶ子 お おもいやりのある子 そ そんぶんに力をはきする子 ね ねばりよく取り組む子

組織目標

- 一人ひとりが安心して生活し、生き生きと活躍できる活動
- 児童が「学ぶ楽しさ」を実感できる授業

研修テーマ

学ぶ楽しさを
実感できる児童の育成
「問い」を軸に
対話を通して考えを広げ深める
学びのデザイン

教員が「幸せ」を感じる働き方改革

- 業務の3分類の適正化
- 業務量管理・健康保持計画の推進
- 生成AIの校務利用の工夫

互いに学び合う集団づくり

探究的・協働的な授業づくり

- ・単元を意識した課題設定
- ・自分事の問いを生み出す学習活動
- ・対話を生み出すファシリテートの工夫
- ・児童の選択による学習活動と学習過程
- ・学びの自覚を目指した振り返り活動

組織力を生かした学び合う集団づくり

- ・中高学年における教科担任制の実施
- ・チーム担任制による集団づくり

ICT教育の工夫

- ・シームレス教育の推進
- ・学習者用端末の文房具化
- ・個別最適で協働的な学びへの有効活用



笑顔いっぱい友達いっぱい

互い良さを認め合う学校・学級づくり

- ・「認められる場所と環境」の設定
- ・対話を通じた多様な自己決定場面の設定
- ・校内フリースクールの支援体制の整備
- ・何でも話せる安心な学級づくり
- ・多様な考えを大切にする教師集団
- ・「させる」から「支える」への指導の転換
- ・主体的な児童会活動の推進
- ・思いやりの心を育む道徳教育の充実

体験活動を通じた豊かな心の育成

- ・「非認知能力」を育む環境づくり
- ・授業や行事での体験活動の工夫
- ・児童と幼児の交流活動
- ・専門家による感動を味わう指導の充実



のびのび元気な体づくり

体力づくりを目指した体育活動の充実

- ・運動の習慣化を図る授業づくり
- ・学習用端末を活用して、体力づくりができる学習活動の工夫
- ・安全に運動できる外遊びの工夫

保健・安全教育の徹底

- ・子供目線での安全点検の実施と確実な改善
- ・危険回避能力を高める指導の充実
- ・ヒヤリハットの共有と事例研修
- ・登下校時の安全確保（通学路点検）
- ・交通安全教室、防災訓練の実施
- ・薬物乱用防止、生に関する指導の実施
- ・引き渡し訓練の実施



夢への挑戦

社会の変化に対応できる人材の育成

- ・発信型プロジェクト学習の充実（探究する学び、プレゼンテーション）
- ・対話を通じたルールメイキングの取組
- ・キャリアパスポートの活用
- ・つくばスタイル科の充実
- ・デジタル学習基盤を活用した学習の充実

特別支援教育の充実

- ・全職員で取り組む特別支援教育の充実
- ・「発達特性」に関する研修の充実
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・定期的な特別支援教育委員会の実施
- ・ユニバーサルデザインの環境整備
- ・関係機関とのケース会議等の推進



連携・絆づくり

社会に開かれた教育課程の実現

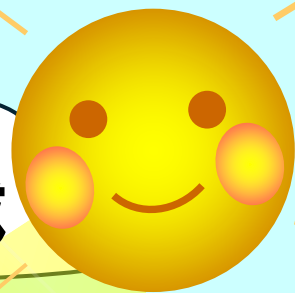
- ・大穂学園コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の一体的な推進
- ・大穂学園（小中一貫教育）での連携
- ・地域各種団体との連携（くすのき隊・区長会など）

信頼される開かれた学校づくり

- ・教職員の指導力の強化
- ・学校コンプライアンス体制の確立
- ・学校事故の未然防止（点検・研修）
- ・教育活動の情報発信（HP 更新）
- ・地域人材、施設を活用した多様な学習活動の実施
- ・PTA、コミュニティ・スクール協議会との連携



輝く個性が響きあい 笑顔あふれる児童の育成



☆ 非認知能力の醸成

- やりぬく体験の保障
- 上手な励まし(努力への評価)
- 安心して挑戦できる環境づくり

地域・家庭との連携
コミュニティ・スクールと
地域学校協働活動の一体的推進

☆ 教えから学びへ

ーわくわくする授業の展開ー

- 授業改善
 - ・基礎基本の定着
 - ・課題の工夫
 - ・探究的な学びの推進
 - ・粘り強く考え、表現するための支援
 - ・GIGA端末、ラーニングマウンテン等ツールの活用
- 本物からの学び、体験を通じた学び
- 読書活動の推進(朝読書からの習慣化)

☆ 管理から自己決定へ

ー自律的な学級づくりー

- 挑戦が称賛される学級経営
- 自分で解決させ、考えさせる授業
- 多様な考えを大切にする特別活動
- 伴走者である教師

前野小でよかった！

通ってよかった！
通わせてよかった！
勤務できてよかった！

一人ひとりが温かな気持ちで幸せを実感できる毎日に

☆ 働き方改革の推進

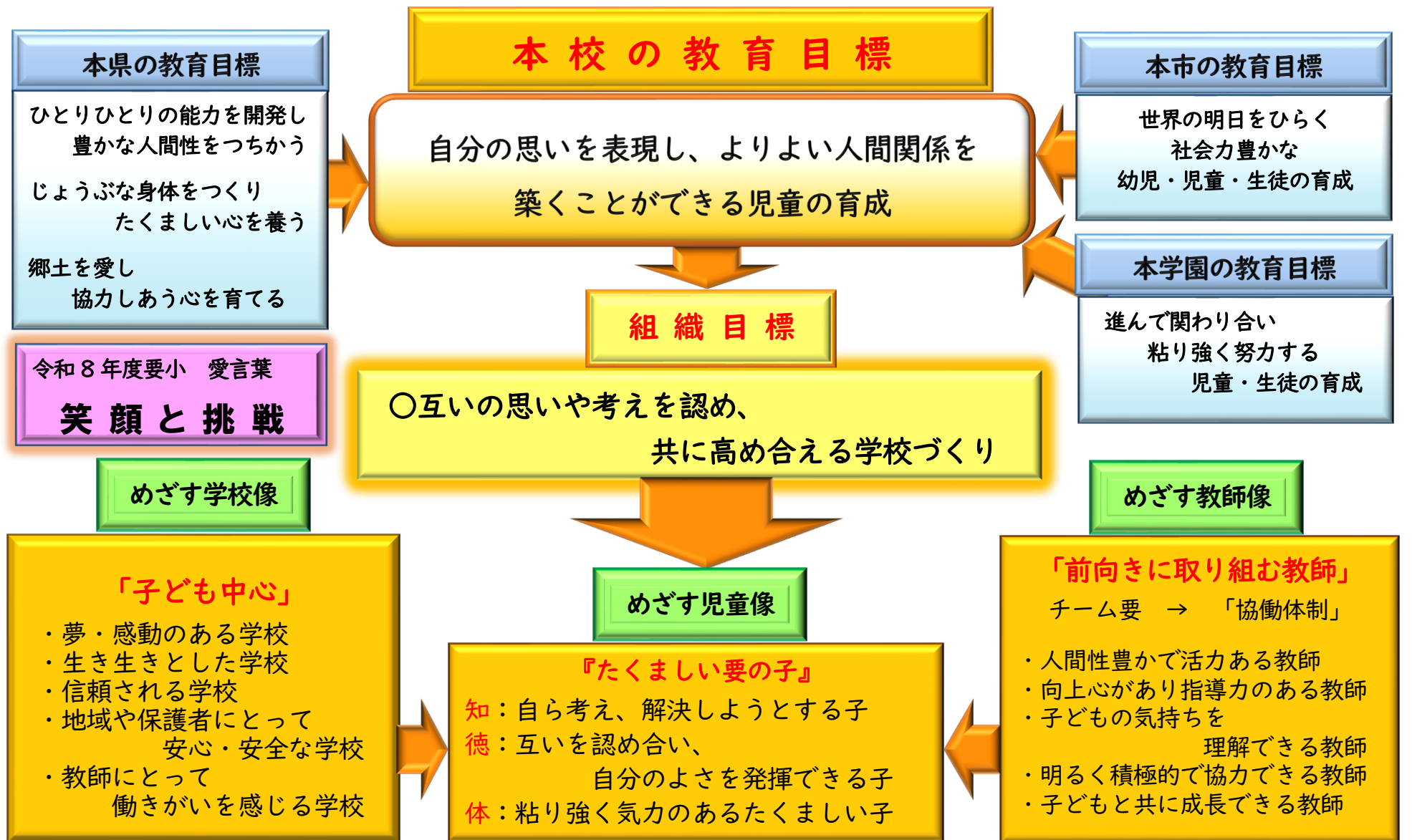
- 前野小DX
 - ・生成AIの効果的活用
 - ・Teams活用による授業と業務の展開
- 時間づくりで自分磨き
 - ・趣味づくり、マイブーム

☆ 服務規律の確保

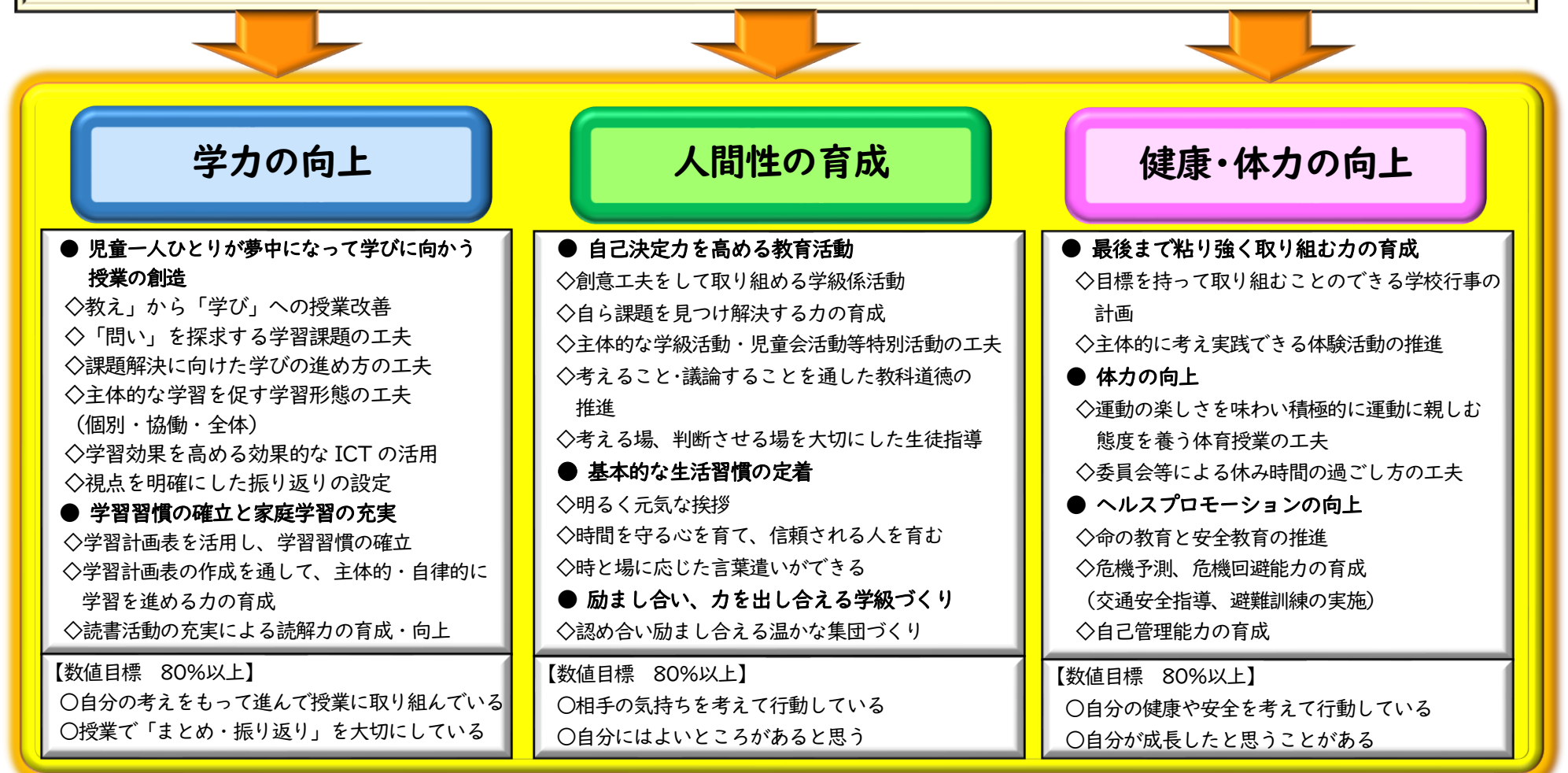
- 風通しの良い雰囲気づくり
 - ・～共に高め合い、共に歩む～
One Team 前野
- 専門職としての法の理解

令和8年度 大穂学園つくば市立要小学校 グランドデザイン

一人ひとりが幸せな人生を送るために



組織目標具現化のための具体的施策



令和8年度校内研修テーマ

〇自分の思いや考えをもち、表現することのできる児童の育成

働き方改革の推進 …… 心にゆとりをもって、子どもと向き合うために

・教育課程の工夫、改善

・見通しをもった計画的な業務の推進

・属人化に依らず、安心して引き継げる仕組みの構築

令和8年度 大穂学園つくば市立吉沼小学校グランドデザイン

学校教育目標 夢や希望をもち、努力・挑戦し続ける児童の育成

目指す学校の姿	目指す児童の姿	ありたい教師の姿
○すべての子どもが生き生きと 学ぶことができる学校	■進んで学び、自分の思いや考え を豊かに表現できる子	○子どもに寄り添い、子どもと共に 学び、共に成長できる教師
○すべての教職員が熱意と創意 をもち、協働できる学校	■思いやりがあり、友達と協力し て活動できる子	○指導力を磨き続けることがで きる教師
○家庭・地域から愛される学校	■心身共に健康で、たくましい子	○豊かな人間性や社会性を備え た信頼される教師

本年度の学校経営の重点【組織目標】
自律的に学び続ける児童の育成と、それを支える教師の専門性・働きがいの向上

《学校経営の基本理念》
すべての子どもが安心して学び、互いを認め、高め合
い、成長をみんなで喜び合える学校づくりを推進する。

《学校経営の方針》

「たすけあい」を、「勇氣」の翼に
～100%の安心感を土台に、一歩ふみだす幸せな学校～

【自律】「やらなきゃ」から「やってみよう」へ
自ら学び方を選び、挑戦する子・楽しむ先生
【徹底】「あたりまえ」から「みんなの安心」へ
みんなで守り、寄り添い、安心の土台を作る
【対話】「こたえ」は、なかまの中に
本音で話し、なかまとともに、納得解を見つける組織

《第4期つくば市教育振興基本計画》
■基本理念 夢に向かってよりよい未来をひらく
「学び」の実現

《つくば市教育大綱》
「一人ひとりが幸せな人生を送ること」

■考え方の転換

- 「教え」から「学び」へ
- 「管理」から「自己決定」へ
- 「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

《大穂学園の教育目標》
進んで関わり合い 粘り強く努力する
児童・生徒の育成

知のプロジェクト



進んで学び、
自分の思いや考えを豊かに表現できる子

- 1 自律的に学び続ける児童を育む授業づくり
【校内研究テーマ】
- 2 自ら目標を立てて取り組む「チャレンジタイム」の充実
- 3 端末・生成AIを駆使した学びの深化
- 4 探究心と自己効力感を育む読書活動の推進
- 5 振り返りを核とした家庭との学びの共創

徳のプロジェクト



思いやりがあり、
友達と協力して活動できる子

- 1 自己効力感と自律を支える「コーチング的な関わり（問いかけと見届け）」
- 2 自己受容感と自己調整力を育む「自分を見つめる時間」の充実（道徳・学級活動）
- 3 「ルールメイキング」による学校課題の自分事化と合意形成
- 4 幸せ感を高める異学年交流の活性化
- 5 心理的安全性を基盤とした、挑戦を称賛する文化の醸成

体のプロジェクト



心身共に健康で、たくましい子

- 1 自律的な生活習慣の確立（セルフマネジメント）
- 2 心身の健康を支える専門性の発揮（保健・相談体制の充実）
- 3 目標設定と振り返りを重視した「個が伸びる」体育授業
- 4 自律的な危機予測と安全な生活環境の共創
- 5 所属感を高める異学年交流と外遊びの推奨

連携プロジェクト



家庭・地域等との連携

- 1 コミュニティ・スクールを基盤とする家庭や地域と連携した教育活動の推進
- 2 学校HPや学校だより等による積極的な情報発信
- 3 大穂学園内小中学校における交流の活性化（児童生徒同士、教員同士）
- 4 地域人材や専門家と連携した指導の推進（ICTを活用した遠隔教育も含む）
- 5 保幼小の連携強化

自己決定・自己調整力を促すコーチングによる指導の充実（相手の話を聴くスキル・質問するスキル・承認するスキルの向上）

学ぶことと将来のつながりを意識できるキャリア教育の充実（特別活動、体験的な活動、探究的な学び、キャリアパスポートの活用）

特別支援教育の充実（合理的配慮に基づくパーソナル・サポート）

【数値目標】・授業を楽しみにしている児童の割合 80%
・自己調整力（目標設定・振り返り）の割合 88%

【数値目標】・「自己受容感」の児童の割合 85%
・いじめを絶対にしないように気を付けている児童の割合 100%

【数値目標】・学校が楽しいの児童の割合 90%
・自律的な判断に基づく「危機回避」の児童割合 95%

【数値目標】・教育方針を理解し努力を認める保護者の割合 90%
・地域人材・専門家を活用した「本物の学び」の授業実施年2回以上

【働き方改革の取組】・定時退勤の推進 ・「一斉定時退校日」の月2回の設定 ・勤務時間外における電話自動応答（留守番電話）の運用 ・チーム運営による業務分担（校務分掌）の最適化 ・保護者・児童への連絡のデジタル化 ・生成AI等の活用による校務効率化・休憩時間の確実な確保（ペア制による相互バックアップ体制：休み時間&授業終了後） ・教科担任制の活用 ・退勤基準時間の設定 ・有給休暇所得の推進